

## 第1回車イスフィールドワーク報告集

### 前書き

車イス学生が来年度以降、いなくなるということを懸念していました。そこで、昨年度から、2008年以降の設備改善方法を考えました。その中で、『バリアフリー委員会所属の学生が車イスに乗り、大学内を歩いてみよう、そこからバリアを感じ取り、設備改善につなげていこう』ということで企画されたのがこの車イスフィールドワークです。何度も話し合いを繰り返し、2007年6月20日、無事に第1回車イスフィールドワークが実施されました。今回は、参加した学生全員の感想を取り上げてみました。

### 学生1

人生で初めて車イスに乗って大学内を歩いた。初めは、『そんなに普段と変わらないだろう』と甘く考えていたが、実際乗ってみると、とてつもなく大変なことに気づいた。

教室のドア、教室に入るとき小さな段差、A・C館のトイレ、A館の玄関、スロープ、1号館のスロープetc……。普段は何気なく過ごし、通っている所が、こんなにも体力を使い、気を使う場所だとは思わなかった。

ここに書ききれない所に、大きなバリアがあることに衝撃を受けた。例えば、生協前からATMに行きたいときに、C館からエレベータに乗り、1階に降りてからATMに行かなければならない。

うまく文をまとめることが出来ないけれど、今日は人生でとても良い経験になった。大学内だけでこんなに大変なのに、社会や街に出たらどんなに大変なのだろう??と思った。困っているとき、周りに良い人がいればいいけど、世の中そんなに甘くないと思う。今日の体験を通して車イスに対する思いや考えが変わったと思う。企画してくれた島ちゃん、ありがとう。後期、そしてこれからも継続していければと思う。

### 学生2

B～E館の教室の扉を開くのが難しかった。車イス用トイレ以外のトイレは狭くて指を挟んだ。生協の商品棚の上の方にあるものなどの高い場所だけでなく、車イスの近くに落ちている低いものも取るのが大変だったり、普段では気が付かない不便さも感じ取ることができました。

「これくらいなら大丈夫だろう」と思っていたにも実際はかなり大変なことがよくわかりました。自分の普段の視点では決して感じることをできないことを体験できて非常に有意義な体験をすることができました。

### 学生3

普段歩いているときは何とも思わないけど、車イスに乗ると何倍も疲れることがわかった。スロープも楽かと思ったけれど、スロープを上るのが大変だった。ドアも重くて教室に入るのも苦労した

自動販売機にしても、ATMにしても、ポータルにしても車イスからの目線では思っていたよりも全然高くて驚いた。実際に体験するのとならないのでは全然違った。たった1時間弱でもこれだけ疲れるから毎日体験している人は大変だと思う。

今回のフィールドワークに参加できてよかった。様々な改善点が見えた気がする。次回も是非参加して今回では気づけなかったことに気づきたい。そして改善していきたい。

### 学生4

今日車イスを体験してみて、実際に体験してみないとわからないこと、車イスからの視点や、学校内で車イスの人のためにされている工夫、まだまだ学校内で足りないもの、実際に体験してみないとわからなかったことが多くありました。車イスは本当に思っていたより大変でした。休み時間足りないよー。次回も参加したいし、もっと多くの人に参加し、経験することにより、もっともっと多くの効果が得られると思う。

### 学生5

やはり大型の教室のドア付近の段差が困りますよね。A館やC館の教室のようになるといいと思いました。

図書館以外の車イストイレの場所を変えてほしい。後、教務課、A館の入り口のスロープの角度を緩くなると助かると思います。

感じたことは、人と歩くときにぶつかってしまう。狭いところ（生協）は特にそうなので、かなり気を使うことになり、大変ではないでしょうか。

その反面、この大学は車イストイレ、スロープ以外にも、たくさんの工夫がされており、今後、この活動を続けていろんな人の視点で感じ、体験することが多方面での改善に繋がると思いました。

この一つひとつの意見がより良い大学、もちろん私たち皆が通いやすく、とても良くなればいいなと願いを込めて、フィールドワークに期待しています。今日はお疲れ様でした。

### 学生6

前までは、高いところには届かないと言う視点だけだったけど、下（床）に落ちたものを拾うのも一苦労ということがわかった。扉の開閉も大変だった。普段何気なく過ごしたら気づけなかったけど、教室によっては扉のところに凸凹があることを知った。エレベータに乗ろうと思っても、すき間がなかったら入れないと思った。ところどころに段差があるから段差がなくなったらよくなると思う。自動ドアも増えたらいいなと思った。

#### 学生7

一番感じたのは、教室の出入りが困難だったことです。うちの大学のドアは重くて、勝手に閉まってしまうし、段差が高いので出入りが難しかった。

生協は、とてもせまくて通りづらいところがあった。高いところにある本や文房具は取れなくて、どうするのだろう？と感じた。

車イス用トイレはなぜ女子トイレ側にあるのだろう？男性は入っていきにくいのではないだろうか？

実際に車イスに乗って学校を初めて回って、棄権が多くあることに気づいた。後期は今回の反省など活かしてもっと多くの人に参加してもらえるようなフィールドワークにしたい。

#### 学生8

今まで車イスの体験をしたところは、車イスでも通りやすい場所が多かったので、大学で乗ってみて大変さを感じました。平たんなところは大丈夫としても、教室の出入り（E館と他の所で扉の仕組みが違ったり）が難しい。

生協では狭い道があったり高いものが取れなかったりで不便さを感じました。レジの通り道も狭かったです。

エレベータに乗るときは、バックで入らなければならなかったり、出るときもバックで出たりで、普段何気ないことも一つひとつが大変なんだと改めて感じました。車イスに乗って初めて気づいたこともありました。（トビラが違ったり、坂があったり・・・エレベータの乗り方も）

#### 学生9

今回、初めて学内をフィールドワークをしてみて普段見ているのに気づいていなかったことがたくさんありました。

一番驚いたのは、教室の入り口の扉でちょっとした段差が入る障害になったのがびっくりしました。

#### 学生10

すごく良い体験できました！

乗った感想としては、少しでも段差がある場所は怖いと思いました。床の模様だったりでも、振動が怖かったです。教室の入り口の段差、スロープ、エレベータなどでも普段なら気づかないことにも気づくことができました。後は、車イストイレの鏡がななめについてました・・・！！

わかっているつもりでも、全然わかっていなかった感じです。次回はもっとたくさんの人に参加してほしいです。明日は筋肉痛だと思います・・・(笑)

## 学生 1 1

初めて車イスに乗ってみて自分ではそんなに不便だと思っていなかった段差が車イスではこんなにも大変だと思い知らされました。

ドアが重くて、最初子の大学に来たときは結構バリアフリーになっていると思っていたが、不便のところばかりに目が行きました。特に教室に入るところにある段差はタイヤが進まず、大変そうでした。

## 総括

以上の通り、11名の参加者から感想を聞きました。皆さん率直に感じたことを書いていただいて、主催者として嬉しく思います。初めての車イス体験で、大学内を少し動いただけでも辛いという感想が多くて、社会に出たときはどうするんだろう？と指摘してくれた人がいます。車イスの操作が上手くない人は電動車イスに乗るか、ヘルパーさん付き添いで外出するかのどちらかに限られると思います。

次に多かったのが教室の段差のことですね。これはもう、常時手動車イスを手足のようには操縦しているような上手い人でも苦勞して入ってますから改善すべき点だと思います。が、全部は厳しいので考えていく必要があるのではないのでしょうか。

車イストイレがなぜ女子トイレのほうに付いているのかという疑問につきましては、私の持つ情報を照らし合わせて考えてみると、札学で最初の車イス学生は女子学生だったので女子トイレ側に設置されたのだらうと思います。

最後に、ありがたいことに多くの参加者から『次回も参加したい』という声をいただいたので、後期もやっていこうと思います。後期は人文学部から高齢者体験セットを借りて、車椅子以外の肢体不自由学生の立場に立ってフィールドワークしていくのも一つの試みかなと思います。今回のフィールドワークを振り返って、設備改善のためだけではなく、普段体験できない行動のハンディを体験できる機会ということに気づいたので、手話勉強会やしゃべり場のように障害学生への理解を深める機会と言う意味でも継続していくべきかなと思います。